2022 年度　学生交流委員会 「WILL BE プロジェクト」報告書

『第 21 回　Kobe Love Port・みなとまつりで楽天ヴィッセル神戸とイベントブースを企画しよう』

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

・日時　2022 年 7 月 17 日（日）、18 日（月・祝）11:00～18:00
・会場　神戸メリケンパーク（神戸市中央区）
・概要　大学の枠を超えた学生交流や取組テーマを設定しての活動を促進する「WILL BE プロジェクト」を実施した。第一弾となる今回は、学生が地元企業と地域の魅力を直に感じ、理解を深めることを目的に、兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成する「第 21 回　Kobe Love Port・みなとまつり」にて、「神戸青年会議所」「楽天ヴィッセル神戸」と協働しブース内容の企画・立案・運営を行った。
・対象　加盟校学生
・参加者実績　11 校 52 名

・内容　連携先企業である「楽天ヴィッセル神戸」より「若年層（学生）のファンをいかに増やすか」という課題が提示され、キックオフミーティングにて 7 月開催の「みなとまつり」のブース出展内容を企画・運営した。学生は 5 グループに分かれて解決策を考案。内容は大きく「SNS 広報」と「ブース活動」に分かれ、解決策を実践した。SNS 広報ではインスタグラムにてイベントの告知と写真共有を行った。ブース班では「体験型サッカーゲーム」、「フォトスポット」、「ヴィッセル神戸の景品が当たるガラガラ」等、学生主体の活動を実践しイベント本番では賑わいを見せた。

全体の活動日程は以下の通り。（全 4 回）
・2022 年 6 月 2 日（木）：キックオフミーティング（会場：ノエビアスタジアム神戸）
・2022 年 6 月 19 日（日）：オンラインミーティング
・2022 年 7 月 14 日（木）：Kiss FM KOBE ラジオ出演
・2022 年 7 月 17 日（日）、18 日（月・祝）：Kobe Love Port・みなとまつり

※当日ゲームに参加した来場者への景品として、
5 大学 5 企業にご協力頂き約 1,000 個の商品・製品を提供頂いた。

No	学校/企業	品物	個数
①	大手前大学	除菌シート	100
②	関西学院大学	クリアファイル&ノート	95
③	神戸海星女子学院大学	ハンカチ	50
④	神戸学院大学	トートバック(布)	50
		クリアファイル	50
		ポータブルうちわ	48
		シャープペンシル	30
		鉛筆	119
		スマホスタンド(イヤフォン付き)	50
		ペーパーウェイト(本学のキャラクター)	20
⑤	神戸常盤大学	シャープペンシル	250
		ハブラシ	200
⑥	アンリシャルパンティエ	フィナンシェ	300
⑦	亀井堂	瓦せんべい	100
⑧	ケンミン食品	ビーブン	100
⑨	松原製餡	あんこ瓶	50
⑩	楽天ヴィッセル神戸	ステッカー	500

・主催　一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
・共催　一般社団法人神戸青年会議所
・協力　楽天ヴィッセル神戸株式会社

参加者アンケート(感想抜粋)

質問 1.学生志望動機

・幼い頃から神戸の元町に住んでおり、「みなとまつり」にはほぼ毎年参加していた。なじみのある地元の催事に運営側で参加できる機会があると知り、今回勇気を出して応募した。本イベントで連携のある神戸青年会議所は、私の父親も以前メンバーだったと話を聞いていてなじみもあるため、その点にも少し運命的な何かを感じている。

・自分は留学生で、神戸に住んで 4 年が経った。コロナ禍前によくお祭りへ参加していたが、人生初めてのサッカー試合はノエビアスタジアム神戸で観戦した。それ以来、楽天ヴィッセル神戸が好きになり、よくサポーター席で観戦した。現在はコロナ禍で、家でオンライン観戦をしている。このイベントを通して、地域若い世代の祭りへの関心や、神戸のまちの魅力、みなとの魅力を感じ、地域への愛着も深めていきたいと思う。

・日本の中でも有数な魅力ある神戸市の魅力を伝えたいと思った。理由は 2 つある。1 つ目は現在、観光関連の授業を履修しており各回に地域の産業で活躍されている方々の講演を聞き、私自身もイベントや企画に参加して盛り上げたいと思った。2 つ目に今まで神戸市には楽しい思い出がたくさんあるため少しでも貢献したい。

質問 2.全体の内容について

（自己成長）

・初めてこのような体験型のイベントをして大変さや達成感を味わうことが出来た。
そしてこのイベントを通じて様々な人と交流し、楽天ヴィッセル神戸のことを知ることが出来て良かった。

・企画から本番まで関わることができ、今までにない経験ができた。

（企業との協働）

・自分たちでブースを企画・運営することは初めてだったが、とてもやりがいを感じた。大好きな楽天ヴィッセル神戸との企画というのも嬉しかった。暑い中大変だったが、お客さんに喜んでもらえるのがなにより嬉しかった。

・自分が分からないことや困ったことが発生しても企業の方にすぐに助けていただいたのでとても助かった。

（学生交流・多様な参加機会）

・普段関わることのない他校の方や社会人の方々と接することが出来て良かった。

・企画から学生同士で話し合う機会があり、自分の意見を伝え主体的に行動できた。

・他の大学の人と交流することが出来た、知らない人とたくさん話すことが初めてだったので、とても思い出に残っている。

（学業との繋がり）

・広告・企画デザインを中心に学んでいることもあり、学生の間にイベントブース運営の経験できてよかった。

質問 3.みなとまつり当日のチームごとのブース運営について

（協力）

・暑い中、お互いに声掛けをしながら運営出来た。またそれぞれが積極的に行動していた。

・チームの人たちと仲良くなることが出来た。

・休憩に行っている人のところをカバーしながらできた。

・みんなで協力してブース作りできたと思う。

（準備）

・非常に暑かったが、準備が整い体調管理できた。また運営に関わる人の人数も多かったので何かあった時にすぐに対応していただいたので良かった。

（来場者との関わり）

・両日ともたくさんの来場者がチェキの撮影にご協力してくださり貴重な経験となった。

・臨機応変に対応し、さまざまな人に楽しんでもらえた。

・暑い中大変だったが、たくさんの子ども達に喜んでもらえて楽しかった。

質問 4.神戸青年会議所や楽天ヴィッセル神戸の人との交流について

・神戸青年会議所の方々は各々の仕事の他にこのような活動もしていると知って、本当にすごいなと思った。楽天ヴィッセル神戸と関われたことが今回 1 番嬉しかったことで、今回の活動を通して少しでも楽天ヴィッセルの魅力を広められていたらいいなと思う。
・皆さまとても優しくフレンドリーに話しかけてくださり、とても楽しかった。また、今まで楽天ヴィッセル神戸のことはあまりよく知らなかったが、どのような事業を展開しているのかということも知ることができ、企業理解にも繋がった。
・どの方もとても優しく接していただき安心してブース作りができた。このような素敵な機会を作っていただけたことにとても感謝している。
・連絡をした際にすぐに返信がきたのでとても助かった。年齢がそこまで大きく離れていない方も多くいらっしゃったので交流しやすく良かった。
・優しく気さくな方ばかりで、神戸にこんな活動をしている人がいると知れた。
・学生だけでは出ない案やまとめ方を指導してもらえたことが良かった。またノエビアスタジアム神戸のスポーツ以外での用途や普段入ることができない内部に入ることができたことが印象に残っている。

<u><活動写真></u>

キックオフ MTG（6/2）　/　オンライン MTG(6/19)　/　SNS にて告知

フォトスポット　/　キックターゲット　/　ヴィッセルガラポン

以上